

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)誠高会おたかの森病院3期増築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						3.0	0.15	2.5	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	1.8	0.40	
1 開口部遮音性能						-	-	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.6	0.35	2.1	1.00	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50	2.1	0.50	
1 室温						3.0	0.50	3.0	0.57	
2 外皮性能						-	-	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.50	-	-	
2.2 湿度制御		冬期50%湿度を実現する設備容量を確保している				4.0	0.20	4.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.2	0.25	3.0	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.0	0.43	4.2	0.30	
1 昼光率		<宿>昼光率:5.23%				-	-	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	1.00	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						-	-	3.0	0.30	
1 昼光制御						-	-	3.0	1.00	
3.3 照度		<共>500Lx				4.0	0.21	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.36	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	4.1	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.63	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		床・壁・天井・天井裏において、F☆☆☆☆の建材を全面的に採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.38	4.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		<宿>窓面積/居室面積=0.171				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		<宿>給気口は屋上、排気口は各室壁に設置				3.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						3.1	0.40	3.2	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		<宿>天井高:2.5m				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある建材を採用、雨だれ対策、防錆対策、段差対策等				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		浴室排気及び厨房排気ダクトにガルバリウム鋼板を採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管:塩ビライニング鋼管:B、排水管:VP:B 冷温水管:配管用炭素鋼管:D、Eは不使用。				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		②熱源種の分散化を行っている ④災害時、重要度の高いサーバー系統の空調設備に関して優先的に非常用発電機により運転するように計画されている				4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		メタル・光の2種類の引き込み、MDFなどの地下設置を避けている、災害時無線電話の設置				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	<共>壁長さ比:0.27、<宿>壁長さ比:0.28	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出		既存植栽を保存、豊富な緑地、自生種や植栽条件、野生小動物に配慮した緑地づくり	4.0	0.30		-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.77	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.91	2.4	0.50		-	2.4
4 効率的運用			2.5	0.20		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング	自動制御設備により用途別エネルギー消費を把握し分析できる	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価			3.0	-		-	
4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.8	0.20		-	3.8
1.1 節水		節水型便器、自動水栓の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水利用が行われている	4.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート(WC等)、ロックウール化粧吸音板(病室・廊下等)	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		移動型間仕切りを採用	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:94%	3.2	0.33		-	3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場の確保、出入口付近での渋滞対策、送迎バスの導	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明チェックリストの過半を満足	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	